

－ 周産期搬送に関する研究 －

平成 28 年度 総合・分担研究報告書

A. 総括研究報告書	1
田村 正徳（埼玉医科大学総合医療センター）	
B. 分担研究報告書	
I. 広域搬送の適切なあり方に関する研究	
1. 都道府県境を超える広域搬送に関するアンケート調査	19
加部 一彦（埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター 新生児部門）	
2. 熊本地震発生時におけるNICUからの避難搬送の状況調査	22
加部 一彦（埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター 新生児部門）	
3. 熊本地震発生時のNICU避難搬送の状況分析と課題抽出	26
岩田 欧介（久留米大学 小児科学教室）	
4. 大都市圏と関連した広域搬送の適切なあり方に関する研究	28
楠田 聡（東京女子医科大学母子総合医療センター）	
5. 動画通話による一時施設からの情報収集・トリアージ ・搬送システム確立に関する研究	35
岩田 欧介（久留米大学 小児科学教室）	
6. 低体温療法施行児の搬送と治療導入時間の分析	38
岩田 欧介（久留米大学 小児科学教室）	
7. 広域におけるバックトランスファーの問題点と解決作に関する研究	40
長 和俊（北海道大学病院 周産母子センター）	
II. 周産期母子医療センターの施設基準と評価に関する研究	43
楠田 聡（東京女子医科大学母子総合医療センター）	
III. 全国の妊産婦重症搬送事例や妊産褥婦死亡事例のデータ収集できる体制整備と適切な 母胎究明に必要な知識の魅食う手段の開発に関する研究	45
池田 智明（三重大学病院学系研究科・医学部・産科婦人科）	
〔附録〕	49

